

テーマ

三笠はひとつ 三笠はならのまほろば

目標

伝統や文化を再認識させ、新たな郷土愛や誇りを育む。

今年度の取組紹介

○子ども未来会議

第3回子ども未来会議では『みんなで学ぼう校区のたからもの』をテーマに開催しました。各校で学習してきた校区内の文化遺産や行事について、趣向を凝らしたプレゼンテーションで発表し、身近な校区のすばらしさを再発見することができました。



○なら三笠まほろば文化祭

幼稚園・保育園・小学校・中学校・地域の文化交流会を開催しました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、客席からは拍手や声援が送られ大好評で、子どもたちは素晴らしい出会いと感動を感じることができました。また、当日までの準備や広報、運営にも地域の方と中学生が「協働」で行い、大きな達成感を味わえるイベントとなりました。



今年度のまとめ

今年度も、ドッジボール大会により小学校間の交流を深めたり、校区内の幼小中で「ノーテレビデー・ノーゲームデー」キャンペーンを実施し、各家庭への働きかけを行ったり、様々な視点で地域の子どもたちへの取組を進めてきました。また、次世代の地域を支える人材を祝う校区成人式も実施できたことは非常に意義深いことでした。各事業とも回を重ねコーディネーターの動きもスムーズに行われています。さらに運営も小学校区ごとに持ち回り、各々スキルアップしてきています。初めて、校区内の教職員と地域の合同研修や地域連携に関する会長・副会長の講演の実施など教職員の意識改革を推進していく取組も行いました。これらの事業や日々の活動を三笠中学校のHPで公開し、取り組みの総括(アンケート結果)なども掲載して、広く情報公開に努めました。

来年度に向けて

今後、各事業内容をさらに魅力あるものとするため工夫や精選をすると同時に、活動目標に照らし合わせ各事業を共に作っていくという参加者の協働意識を育めるよう取り組んでいきたいと思えます。また、地域の方も各種団体の委員を兼ねている方が多く、教職員の人事異動も考えると関わる人材の裾野を広げ、幅広い方々に関わっていただけるよう展開していく所存です。

テーマ

コミュニティの形成と絆づくり

目標

保護者・地域と連携し開かれた学校・特色ある学校づくりを推進する。

今年度の取組紹介

本校は平成24年12月に『コミュニティ・スクール』の指定を受け小・中の接続を強化しながら、本事業をコミュニティ・スクールの『学校運営協議会』と連携させ「地域教育」や「学校支援」を担う組織として発展させ活動を展開しています。

防災訓練や地域まつり・清掃活動に参加し、地域の方々との活動をとおして、社会性やコミュニケーション能力を育み豊かな人間性を培いました。またローターリークラブと連携し実施した講演会、職場体験、ゲストティーチャーなどのキャリア教育では専門的知識や伝統技能に触れ、問題を解決しようとする資質や能力が育っています。



特に高校受験に向けた面接の練習として、企業勤務経験者などの地域住民が面接者となり、親身にアドバイスしていただき生徒にとっては目の前の高校進学だけでなく勤労観・職業観を養いながら、進路意識を高め、社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。また、この活動が参画の入口となって、学校や地域に対して関心を高める地域の方が増えつつあります。その他、昨年度より始めた地域・小中教員の交流を深めるための取り組みとしてスポーツフェスティバルは地域住民・小中PTAネットワークを高め、地域プライドの醸成を図りました。

今年度のまとめ

全教職員が小学校区に分かれた「地区担任」の組織化を図ることにより教職員の意識が高揚しました。また、地域人材の依頼と調整や家庭・地域・関係機関団体との情報連携のネットワーク化の充実・強化にもつながりました。地域では、「学校や子どもの様子が分かってきた。」「地域の子どもに対する関心が深まった。」「学校以外でも地域のために何かやってみたいと考えるようになった。」「生活に張り合いができた。」などの声上がり、学校行事に対しても保護者だけでなく地域住民、地域団体も積極的に参加するようになりました。

来年度に向けて

これまでの組織や活動内容を大きく変えることなく、その力を活かしていきたいと考えています。そして、学校や子どもたちのために活動することを通して、子どもたちからも学び、同じコーディネーター仲間からも学び、人と人のネットワークを広げることのできる場になって、『みんなで支え、みんなで育てる』と同時に『みんなが育つ』ための核となる組織を目標としています。

テーマ 世界にはばたく椿井っ子**目標** 地域の教育力を活かし、特色ある教育活動を創造する。

今年度の取組紹介

奈良市の中心部に位置し、多くの社寺や観光名所に隣接している本校は、長い歴史と伝統を有する学校で、地域の人々は愛校心が強く、また、学校教育に対する関心も高く、何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、自分の身近な所から積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成をめざして取組を進めました。

昨年度からスタートした「つばいまつり」は、地域で子どもを育て、地域のつながりをより強くするために、自治会をはじめ各団体と学校が協力して、椿井小学校を拠点とした地域のお祭りとして今年も開催していただきました。地域・保護者・学校が一つになり、素敵な夏の思い出として多くの子どもたちの夏休みの日記や作品にも表れていました。



地域の行事に参加し、伝統文化を伝えていこうという取組では、おん祭の演奏をされている南都楽所（本校の隣にある大宿所で練習されている）の雅楽演奏を鑑賞し、楽器の演奏体験をさせていただきました。日頃目にしない楽器に直に触れ、その音色やつくり子どもたちは「また聞きたい。」「演奏してみたい。」と言っていました。おん祭前には「地域を美しく」の取組で、学校から猿沢池周辺の掃除を地域の方とともに行いました。



今年度のまとめ

多くの人たちとの関わりながら、子どもたちが自分たちの住んでいる地域のすばらしさを再発見できました。また、地域の方々と交流することで一つ一つの行事や活動に、その歴史やその時々に関わった人々の思いがあることに気づくことができました。

身近な所から活動を始め、人とかかわり、表現したり発信したりすることができました。地域での活動を通して、地域のよさを知り、地域に対する誇りをもつ児童が育ちつつあります。このことが、「奈良で学んだことを誇らしげに語れる子の育成」につながっていくと考えています。

来年度に向けて

年間計画に沿って各事業を進めていますが、細部の調整等で、担当者との打合せ等に時間をかけ、安全に効果的に実施できるよう準備を行っているため時間を要する点が課題で、工夫が必要です。今年度の成果をふまえ、継続して行う事業には工夫を加え、児童にとってより良い内容のものを考えていきたいと思えます。また、地域の人材の活用や外部人材の発掘も重要であり、新たな取組や幅広く本物に触れる機会をより多くとりたいと思えます。

事業名

地域とスクラム、学びが深まり、**健やかな心と体が育つ大宮アクション**

目 標

健やかな心身を育み、最後まであきらめずにやり遂げようとする力と、自他の命だけでなく、命あるものを大切にしていこうとする心情をもった児童を育てる。その上で地域の人々とのふれあいを深め、人としてのものの見方、考え方を学ぶとともに、生まれ育った「大宮のまち」に誇りをもてる児童を育成する。

今年度の取組紹介

- <第24回 大宮まつり> 「子ども盆踊り」や地域の方とともに遊んだり、お店で買い物をしたりして祭りに参加することで、地域の人たちとふれあいました。
- <ふれあい昼食会> 地域の高齢者を招いて、6年生と共にお話しをしたり、遊んだり、カレーを食べたりして、交流を図りました。
- <全校ドッジボール大会> 低・中・高学年にそれぞれ分かれてのクラス対抗戦を行いました。チームワークの獲得により心が育ちました。
- <健康かけ足> 一人一人が自分の目標を決めて、自分の限界に挑戦しました。
- <お話し会> 学期に一回、お話し会の方に読み聞かせをしてもらうことで、豊かな気持ちが育ちました。
- <ガンバ読書> 週二回、朝10分間全校一斉の読書タイム。豊かな心、優しい気持ちが育ちました。
- <命の慈しみ、飼育活動> ウサギ小屋を掃除したり、ウサギを抱きかかえたりして命の大切さを感じました。
- <ソーラーランタン作り> 環境教育としてソーラーランタンを作り、点灯式を行いました。
- <人権講演会> 地域の方たちと一緒に人権について考え、人権意識を高めました。
- <図書ボランティア> 図書室の環境を整えたり、図書の修理をしたり、子どもたちの読書環境を整えました。



今年度のまとめ

地域の人々との交流や協働からは、自分はその人とのつながりの中で生きているということ、今の自分にできることは何かということに気が付き、考え、行動する児童の育ちが表出しています。特に高齢者の方々とのふれあいからは、自分も人に喜んでもらえることができること、喜んでもらえることは自分の幸せにつながるということに気付くとともに、自分もこの大宮の地域の一員であり、自分が地域のためにできることを考えていこうとする意識の芽生えにつながっています。

「命の慈しみ、飼育活動」

飼育委員会では、学校で育てているうさぎのお世話をしています。朝、学校に着いてから飼育小屋に行って掃除をしたり、えさをあげたりしています。金曜日には、「ふれあい広場」という全校のみんなにうさぎとふれ合ってもらう時間があります。

飼育委員会に入ったばかりの頃は、動物が苦手でうさぎに近寄れませんでした。でも、委員会でウサギとふれ合うことが多くなり、今では近寄って遊ぶこともできるようになりました。これからも、動物を大切に育てていきたいと思っています。

飼育委員会 委員長

来年度に向けて

児童がアイデアを発信し、企画などに参加・参画していく手立ての追求が大きな課題です。地域の人に支えてもらっていることに感謝をしつつ、自分たちができることを考え、行動できる児童を育てたいと思います。

テーマ

地域で学び 地域から学び 地域に働きかける 大西っ子

目標

**「わたし大好き あなた大好き 学校大好き わが町大好き」
と思える児童の育成**

今年度の取組紹介

※佐保川・自然環境をテーマにした学習を学年に応じた形で取り組みを進めています。2年生の町探検では市の施設や県立図書情報館での学習、3年生は講師を招いて佐保川の環境や生物の学習を展開し、ビオトープの制作(蛍の里)を通し自然を深く学ぶ取り組みをしています。6年生では歴史遺産学習を通して古都奈良を再認識し、自分たちのまちを大切にしていこうという意識を高めることができました。



地域行事では2年生が「年長者の集い」に参加し年長者の方に歌を披露し感謝の気持ちを伝える場にしています。6年生は「川辺のまちづくり」に参加し、雅楽や自分たちで作った歌などを披露し、地域の一員として参加することができました。地域の行事に参加し、地域への所属感を高め、自分たちもまちづくりに参加していることを実感できる一場面でした。

※ここ数年続けている雅楽体験の取り組みを今年も実施することができました。南都楽所の講師の先生に5年生が指導を受け笙・龍笛など和楽器の演奏に取り組むことができました。子ども達は体験を通して、雅な音色にふれ、古の奈良を体感することができ、次の学年へとバトンをつなぐ学習に定着してきています。



また、理科学習や家庭科の学習において講師やボランティアの協力を得ながら学習効果をあげることができました。図書ボランティアや「お話の会」を毎学期開催し読書活動を充実させることができました。クラブ活動においては、地域の方々の協力により、茶道では初釜の体験やマジック大会等本格的な楽しい活動を保証することができました。

今年度のまとめ

「子どもの力を付ける事業」「地域と共に学ぶ事業」「環境整備事業」の三つの事業を中心に取組を進めてきました。環境教材・資産に恵まれた地域です。また、学校を中心に地域の方々が学校を支援していただく協力体制も整っています。そんな環境の中で子ども達が本物にふれる経験や体験的な活動を通して豊かな感性を育み、地域に生きる子ども達を育成することを目指しています。校区は、地域の行事も多く児童が地域行事に参加し、地域の協力を得ることにより、自分たちの住む地域の理解を深めることができました。地域への所属を感じ自分の存在感を高める活動につながりました。また、地域の教育環境・人材を整理し、発掘することができました。

来年度に向けて

地域の人材の高齢化により、ボランティアの再募集などを考えていかなければならない時期に来ています。保護者へ参加の呼びかけや新しい人材の確保が課題となっています。また、地域行事や中学校区の取り組みも活発で、学校行事との兼ね合いを考えながら、効率よく学習活動を展開できるように時期や参加体制を調整し、充実させていきたいと思えます。

テーマ

人に優しい ものに優しい チャレンジする**佐保川っ子**

目標

地域にある自然環境や文化的歴史遺産、また地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物だけではなく、この佐保川地区を愛する子どもを育む

今年度の取組紹介

①佐保川を学ぶ



「佐保川」の環境を守る活動として、地域の人と協働で取り組む「佐保川清掃」。6月の休みの日に子どもたちを始め地域の各種団体合計300人以上が参加して、佐保川のゴミ拾いや草刈りを行いました。生きた学習環境を提供してくれる「佐保川」をみんなで大切にする地域の方々との気持ちをつなげる大切な取り組みです。

②地域の人から学ぶ

学校の近くの田んぼで行われる「田植え・稲刈りの体験活動」。地域の方の協力で、春の田植えと稲刈りの体験をさせてもらっています。PTAの方の協力もあり、近所の方が足や手を洗うための水道を貸していただいたりしています。できた餅米は、「もちつき大会」に使われ、地域に住む一人暮らしのお年寄りにも配られています。



今年度のまとめ

「5年生になったらいねかりをしたいな。」「秋にある水辺のコンサート楽しみだね。」こんな声から児童から聞こえてきます。地域に結びついた事業が根付いてきています。地域の方の顔が見えるようになってきました。地域の活動が子どもたちの生活の中にしっかりと息づいてきていることがうかがえます。地域行事へのあこがれや誇りの持てる活動を今後ともしっかりと続けていきたいと思えます。

来年度に向けて

様々な教育課題を抱えながら日々の実践を重ねているなかで、地域の方々が子どもたちの活動を支援していただいたり見守っていただいたりして助かっています。コミュニティースクール・小中一貫教育の進む中、職員の輪を築きながら中学校・近隣の小学校・保育園、そして、地域の各種団体との連携を密にし、さらに地域を愛する心、地域を誇りに思う心を育てこの地域を引き継いでいく将来の力となるよう、今の取り組みを大切にしていきたいと思えます。

テーマ

育ち合おう！感動いっぱいの幼稚園

目標

「明るく、優しく、たくましく生きる子ども」を目指して

今年度の取組紹介

【豊かな心を育てる音楽活動を通して】

☆『マリンバ演奏会』『琴と尺八による演奏会』『弦楽四重奏』『大学生によるアンサンブル演奏会』『パーカッションで遊ぼう』等、生の演奏を聞いたり実際に触れたり、演奏を楽しんだりする機会を多く取り入れました。



☆『わらべうたで遊ぼう』では、音声館から講師の先生をお招きし、様々なわらべうた遊びを教えていただき、手遊びやお手玉・まりつき・トーンチャイム・大布などを使って遊びました。拍を感じながら、友達やお家の方との触れ合いを十分に楽しみました。

【地域の人・もの・ことに触れたり、伝統文化に触れる体験を通して】

☆『ふれあいサロン』を地域連携のもと開催し、ふれあい遊びを楽しんだり、園児のダンスや演技を見ていただきました。



☆地域のお花の先生をゲストティーチャーにお招きし『生け花体験』を楽しみました。作品は園内作品展にも飾り、みんなに見ていただく機会となりました。

☆西方寺さんにお茶会に招いていただき、地域の方の指導を受けて日本の伝統文化に触れることができました。釣鐘の音や様々な楽器にも触れさせていただき『奈良の音見つけ』の貴重な体験の場となりました。

**【園内の環境整備を通して・保護者と共に】**

☆遊びやすく片付けやすい環境づくりとして、夏休み期間を利用し保護者の方々の協力のもと、砂場の整理棚を制作し設置しました。



今年度のまとめ

- 音楽活動を通して本物の音色に触れたり、楽器に触れたり、一緒に演奏する機会をもったりして感動体験を積み重ねたことで、音楽が好きな感性豊かな子に育ってきています。また、園生活においても音楽会や生活発表会に生かすことができました。
- 地域や保護者の方々の協力を得て、どの活動も充実した取り組みとなり、感動体験を積み重ねられる機会や場を園児に与えることができました。

来年度に向けて

地域の方々の教育力を生かし、ご指導ご協力をうけながら、地域力を生かした活動を企画・計画し、来年度も継続して取り組んでいきたいと思っています。26年度は近畿音楽教育研究大会の公開保育の発表を受けているので、音楽環境の充実を図ると共に、子どもたちがより一層自ら進んで様々な環境にかかわって遊びや生活が展開できるよう保育環境の整備・充実に努めていきたいと思っています。

テーマ わたし大好き あなた大好き 幼稚園大好き
わが町大好き 大西っ子

目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる幼児の育成

今年度の取組紹介

地域の方の教育力を活かし、茶道教室・生け花教室を行いました。茶道教室では、年少・年長がペアになり、年少児は年長児の取り組んでいる姿からお茶の礼儀や作法を学んでいきました。年長児は、興味をもって取り組む姿が見られ、落ち着いた時間を過ごすことができました。生け花教室では、いろいろな花の名前を知ったり、園内作品展で飾ったりし、お家の方や地域の方に見ていただきました。



万年青年クラブの方と触れ合い会やグランドゴルフを行いました。地域の方々とこま回しやお手玉・折り紙などの遊びを一緒にしたり遊びを教えていただいたりして、楽しい時間を過ごすことができました。年長児は、グランドゴルフを教えていただき、コースをまわって楽しみました。



今年度のまとめ

茶道教室では日本の伝統文化を知り、互いに学ぶ中で、年少児は年長児への憧れをもち、年長児は年少児を思いやる気持ちをもつことができました。生け花教室では、自然を大切にすることや、自然の美しさを感じることができました。日本の伝統文化や身近な文化遺産に触れ、「人・もの・こと」を敬う気持ちをもったり、場にふさわしい態度を身につけたりすることができました。万年青年クラブの方との触れ合い会・グランドゴルフ、一年生との交流、未就園児との触れ合いなど、様々な人々との触れ合いを通して、地域の方の温もりを感じ、自分たちの住む町を大切にしようという気持ちが芽生え、人に対する優しさ思いやりの心、人とかかわる力が育ってきました。みんなで取り組んだ園内作品展では、地域や保護者の方から「子どもたちの頑張りがたくさん感じられて本当に楽しかったです。いつもステキに教育していただいてありがとうございます。」「奈良に住む人として、奈良を大事に人を大事にする大人になると思いました。」などの意見をいただきました。

来年度に向けて

地域の方を発掘して地域の教育力を十分活用しながら園児が学びを深めていけるよう、計画的・継続的に取り組んでいきます。また、いろいろな人々との触れ合いや心に響く感動体験を通して、豊かな感性を育てていきたいと思えます。